

ほっと 共感する、ほかほかのことばたち！ 子どものつぶやき、ほのぼの語録

誰でも参加可

子ども達が日々何気なく発するつぶやきに大人達は癒されたり、ドキドキしたり。忘れてしまいたくないから書き留めたいね。

子どもが小さいとき、なにげなく言った言葉に、思わずブツと噴き出しそうになったり、大笑いしたり。そんな経験ありませんか？友人と話しているとき、ああ、我が家でもそんなことあったなあ、でも思い出せない・・・そこで、そんな子どもたちの名言を、お茶っ人に書き留めてみたい、お茶っ人で集めてみたいと思いついたのが、「子どものつぶやき、ほのぼの語録コミュニティ」です。コミュニティ参加人数もおかげさまで現在34名。作ってみて、書き込みをみて感じました。面白いですね。皆さん、同じような経験をされているようですね。「そう、そう、うちの娘もこのあいだねえ」とか「思い出しましたー今はもう成人している息子もこんなこと言っていました」等々、どんどんコメントが入ってきます。お茶っ人でちょっとほのぼのしてみたい方、ぜひこのコミュニティにご参加ください。パソコンの前で思わずニコツとしてしまいますよ。

(管理人 るくさん)

祝！ 1000首達成 おめでとう！ みんなで川柳を楽しもう！

誰でも参加可

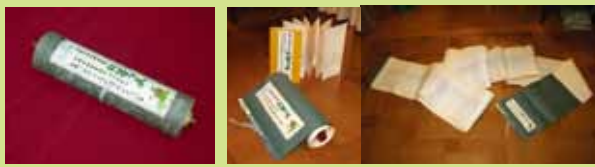
「私達家族は、川柳を作って会話を楽しんでいます」
そんな日記からはじまったコミュニティ

毎年、ある生命保険会社が恒例の「サラリーマン川柳」の入選作100句を発表します。去年、「私達家族は、川柳を作って会話を楽しんでいます」というお茶っ人日記を書いた事をきっかけに始まった川柳。それからというもの、あれよあれよという間に皆様の手から手へ川柳が独り歩きを始め、気がつけば川柳しりとり1000句達成という快挙・・・私自身非常な驚きと共に感激的な瞬間をも経験させていただき、皆様の温かさをしみじみと感じております。皆様の個々の自由な意志で書き込まれた川柳しりとりという言葉遊びが、1000句も続いたのは

日本の伝統や文化の継承・人との繋がりが、一人一人の思いという目に見えない不思議な力が働いたのに違いありません。また、矢数俳諧で一昼夜に23500句を詠んだ井原西鶴の時代の『5・7・5』のリズムが、今なお私たちの心に引き継がれているからでしょう。最後に、川柳コミュニティの一人として、川柳コミュニティを提案して下さったバクさんや盛り上げて頂き川柳コミュニティを素敵なお茶っ人の皆様に感謝したいと思います。『ありがとうございます。』(Cardinaさん)(管理人 バクさん)

つぶやきがかたちにお茶っ人名物「巻物」編

お茶っ人名物『巻物』の謎とつくるもん隊(笑)

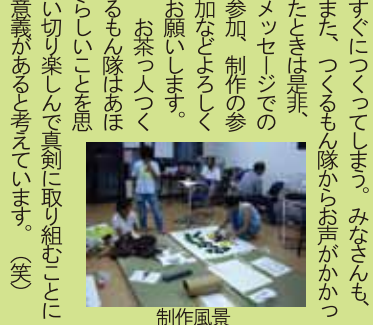


第二弾 巻物

第一弾 巻物



巻物を広げたところ



制作風景

「つくるもん隊長 まあねっ」とい切り楽しんで真剣に取り組むことに意義があると考えています。(笑)



イメージ絵 協力Aちゃん (保育園の時の先生が書きとめたつぶやき)

【青空さんの日記】第一弾巻物の内容：2007年3月23日(金)『しゅんさんたちをいっしょに応援してください。』 巻物作り：2007年3月29日(木)『つくるもん隊！活動開始から完成までの巻き♪』
第二弾巻物の内容：2007年8月22日(水)『愛の巻物(太巻き) 第二弾!! ご協力をお願いします!!』 その後数日間にわたって巻物関係の日記があります。(^^)

投稿コーナー

お茶っ人をはじめから、感動したこと、ほかほかしたこと、出会い、感謝・・・
そしてまだお茶っ人に登録されていない皆さんへのメッセージもいっばいです！

「お茶っ人」に参加して思いも及ばなかった多くの人の出会いがあり、交流が途絶えていた人との再会も果たして人の輪が大きく広がりました。なかでも「お茶っ人」の良さを実感したのは、昨秋に開催の「第21回2007宇治福祉まつり」です。実行委員の一人として企画から参加しましたが、20年の伝統と新しい企画をとり入れた福祉まつりを行なうについて「お茶っ人」にも呼びかけました。「前夜祭」では「サテライトキャンプ」常連バンドマンの協力がある

お茶っ人はきつと真つ白な「毛布」に違いない。感動したこと、悲しいこと、苦しいことを書けば、皆さんがそれぞれにコメントをくれる。出会えば「大丈夫?」「反省しいや」なんて言葉が投げられる。顔が見えて声も聞こえて、それがネットの向こう側でも、ピュアな気持ちで包まれている安心感。昔「幸せは温かい毛布」って誰かが言った。まさにそんな感じかな。できることなら『世界一温かいお茶っ人毛布』って売出したいほど、素敵だよ。(アキちゃん)

お茶っ人を初めて知ったのは、宇治市政だよりの一文からでした。登録して、最初の頃はただ読むだけでしたが、いつの間にかどっぴりはまってしまったみたいです。やはり昨年春の「お茶っ人庵」のイベントが大きいかな。画面での文字だけのおつきあひから、リアルな人とのつながりが出来ました。不思議なのは、初めてあったその人が旧来からの友人と思えるところ。また、古くからそこに住む人達、新たに住む人達の垣根を取り払うことが出来、うまーく馴染んでゆけるのもお茶っ人のいいところかも知れません。そんなまかせ不思議な世界に、あなたもいかがですか？(smz460さん)

私がお茶っ人を始めたのは、宇治市政だよりで知り面白そうと思ったからでした。mixiでSNSの楽しさはよく知っていました。でも実際地域SNSはmixiとは全然違っていました。『顔の見えるネットワーク』



「お茶っ人でひろがる、芽が出る、育む、ほかほかの種。」

お茶っ人を始めてからは、いろんな出会いや出来事がある、家事と育児に追われるだけの毎日から、楽しい「彩」が加わりました。いろんな行事などでも「知っている」方に出会えて会話でき、よりいっそう楽しめたり、いろんな方の日記を読ませていただいて、「考える」より深く「想う」こと、機会をいただきたい・・・「個」になれる時間を持つようになったように思います。いろんな楽しい！や、いろんなありがとう！の気持ちでいっぱい。(ほとちゃん)

初めて、しゅんさん・団長さん・お六さん・たまさんと会って話したのが、昨年の3月31日の千代田のさくらまつり。それから始めた『お茶っ人』。9月半ばには、東京から宇治へ6人が泊まりに行きました。たくさんのお茶っ人仲間の方と紡ぎました。11月には、お六さん・たまさんと東京で再会。神田で飲みました。今年の2月には、団長さん・ハルジョンさんと再会。数える程しか会ってないけど、何十年來の友人の再会のようにです。ホームグラウンドの『ちよっぴー』より長い時間居る『お茶っ人』。何が魅力なのかは、入ってみて確かめてください。(別嬪さん)

初めて、しゅんさん・団長さん・お六さん・たまさんと会って話したのが、昨年の3月31日の千代田のさくらまつり。それから始めた『お茶っ人』。9月半ばには、東京から宇治へ6人が泊まりに行きました。たくさんのお茶っ人仲間の方と紡ぎました。11月には、お六さん・たまさんと東京で再会。神田で飲みました。今年の2月には、団長さん・ハルジョンさんと再会。数える程しか会ってないけど、何十年來の友人の再会のようにです。ホームグラウンドの『ちよっぴー』より長い時間居る『お茶っ人』。何が魅力なのかは、入ってみて確かめてください。(別嬪さん)

お茶っ人で宇治住民になれる。私は単身生活。会社生活も終わつた今は趣味のサークルしかコンタクトが無い。地域との縁が出来なくて宇治に居ながら根無し草気分。でもサークルから参加したeタウン・うじ、その縁で参加したお茶っ人で初めて地縁が出来た。地域で活動してる人たちの様子や息吹に触れて、宇治の人間だとの意識が出来ましたね。でも未だ狭い世界かも、広範囲がカバーされていけばもっと楽しく充実した住民生活が送れると楽しみです。(みーちゃん)